

景観資源の名称：

きじおかじょうあとこうえん

雉岡城跡公園

所在地：本庄市 児玉町八幡山

公園・広場

紹介文：

雉岡城は、別名八幡山城とも呼ばれ、戦国時代に山内上杉氏の居城として築かれました。雉岡城は関東管領山内上杉氏が築城したといわれ、鎌倉街道上道と上杉道の分岐点内側の交通の要衝に築られました。上杉氏は築城後在城しましたが城地が狭いとの理由で上野国平井城を築いて移り、代わりに家臣の夏目豊後守定基を城主としました。この定基と子息定盛の2代にわたって在城しました。その後、後北条氏の武蔵進出にともなって雉岡城も北条氏の支配下に置かれ、鉢形城主北条氏邦の任命により横地左近将監忠晴が城代となりました。天正18年、豊臣秀吉が小田原城の後北条攻めを開始すると、雉岡城は前田利家・上杉景勝を主力とする北国勢の攻撃を受けました。城代横地忠晴は鉢形城に逃げ、雉岡城は落城しました。その後、関東に徳川家康が入り各地に有力な家臣を配置すると、雉岡城には松平玄蕃頭家清が1万石で入城しました。家清は城下町の整備を開始しましたが、関ヶ原合戦で東軍が勝利した後、三河国吉田(愛知県豊橋市)に転封となり、以後、雉岡城は廃城となりました。

現在では、市民の憩いの場として利用され、春(4月上旬)には桜が城跡を覆うように咲き花見スポットとして有名です。



アクセス 児玉駅より徒歩にて10分

関連URL: <https://www.city.honjo.lg.jp/soshiki/kyoikuiinkai/bunkazai/tantoujouhou/bunkazai/1375761227432.html>

表彰・文化財情報

【彩の国景観賞】

受賞歴 無し 受賞年度 年度

【市町村景観賞】

賞名
受賞年度 年度

【文化財】

指定文化財 県指定
登録文化財 無し

その他表彰等 景観法指定状況

資源情報

所属者属性 国・地方公共団体

所有者名 本庄市

設計者

施工者

時代区分

竣工年(西暦)

訪問見学対応

敷地外から望見可能建築物内部の見学可能有料敷地内の見学可能要予約・問い合わせ非公開

※該当するものに×が表示されます。

データ
入力者
情報

入力担当市町村名

本庄市

入力担当部所名

都市計画課

最終更新年月日

2024.3.8

情報初期登録年月日

2009.1.30